

ふるさと講座自然系第2回目 「初冬の野鳥観察会 ユキホオジロ・コクガンを観察しよう」の お知らせ!



- 日 時 令和2年11月29日(日)午後1時~5時
- 場 所 野付半島
(集合・解散は野付半島ネイチャーセンター2階)
- 講 師 野付半島ネイチャーセンター長 藤井 薫 氏
- 申込等 11月27日(金)までに、電話・FAX・メールにてお名前と電話番号をお知らせください。定員15名
- その他 観察場所は、野付半島最後の番屋から徒歩で先端まで行ったところ。防寒着を着用ください。ヘッドライト(懐中電灯)・図鑑・双眼鏡をお持ちの方は持参ください。当館でも若干貸出しします。

ふるさと講座歴史系第3回目 擦文・アイヌ文化期の遺跡を巡る ～オンネニクルの森を歩こう～を実施しました。

10月25日(日)参加者11名で実施しました。場所は野付半島の中間部にある「オンネニクル」の森です。

ネイチャーセンターで、オンネニクルの森について説明の後、ナラワラ駐車場付近の番屋まで移動しました。ナラワラを歩き、イドチ岬チャシ跡、野付1.2遺跡を見学し、枯れ木が多い森の中央部で休憩をとりました。天候も良く野付半島特有の綺麗な風景が広がり、程よい距離を歩く運動にもなることから、好評でした。



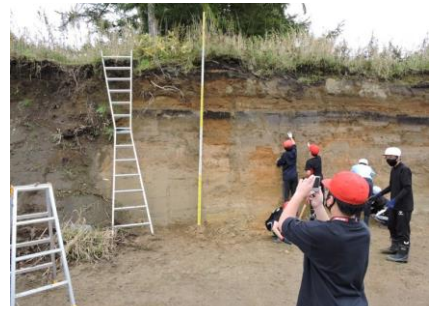
中西別小学校6年生の地層の授業の支援

10月13日（火）に中西別小学校6年生の理科学習の一環で、地層を見る事業の支援を行いました。

酪農業を営む児童宅の敷地内に観察できる場所があるとのことで、現地での授業となりました。

およそ4mの露頭があり、移植ごてできれいに削っていくと、上から樽前山、駒ヶ岳、摩周系の火山灰の堆積が見られます。

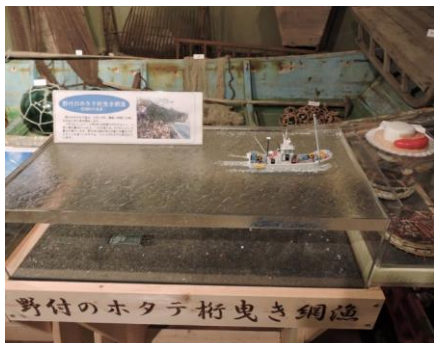
教科書だけではなく、実際に現地で行う学習は、五感を使うもので、ふだんは地面の下などは見ませんので、自分たちが暮らしている土地の成り立ちを肌で感じる事が出来たと思います。



常設展示室「新着資料」のご案内

ホッカイシマエビとホタテのレプリカを制作し、それぞれ、打瀬船漁・ホタテ漁のジオラマと一緒に展示しました。別海町の代表的な水産物の精巧なジオラマをご見学ください。

ホッカイシマエビ（上）ホタテ（下）



別海町郷土資料館だより No.256

発行日 令和2年11月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

最近、あまり学校授業の支援などは、なかったもので地層の勉強はとても楽しいものになりました。児童たちも土・砂・火山灰の違いについて、実際に見ることは良い経験になったことと思います。こういった授業が今後も増えることを願います。(K.I)